

(様式第4号)

川西地域協議会 会議概要

1 審議会名	第2回川西地域協議会
2 日時	令和3年7月20日(火) 午後1時30分から午後3時15分まで
3 会場	川西公民館 大ホール
4 出席者	赤堀三幸委員、池田宏子委員、伊藤清治委員、沓掛美恵子委員、小泉強委員、小泉里枝委員、小林久晃委員、小山晃委員、里見正明委員、田村実英委員、南波尚子委員、西沢利信委員、早川利恵委員、前所憲介委員、水出秋子委員、室澤克彦委員、山崎和夫委員、山田保子委員 計18人
5 市側出席者	市民参加・協働推進課 堀内課長、片山係長、宮下センター長、唐澤地域振興政策幹、山崎係長、村山主査
6 公開・非公開	公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年7月26日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 あいさつ(会長)
3 事務局からの報告 ・欠席者1人：会議成立、資料確認、傍聴者0人
4 協議事項 (1) 連絡事項等 前回の会議記録の案は承認され公開することが決定。 (2) 上田地域における地域協議会の設置単位の見直しについて 担当課から資料を基に見直し(案)について説明 以下、質疑応答 (会長) この見直しについては、前回5月18日にも説明させていただいた。わがまち魅力アップ応援事業の新規事業が令和元年度で終了し、継続審査のみとなったことが開催回数減少の主な理由となっている。 また、上田市総合計画の見直しも大きな役割の一つであるが、こういった大きな計画に対する諮問・答申がとりあえない。 地域協議会は2年の任期だが、第8期においては委員19名中16名が新規の方で、令和3年度になって5名が交代した。充て職の方があつたりして、本当は最大6年まで委員をできるので、4年、6年という形が望ましいが、選出母体の都合もあるので、1年ごと、2年ごとに変わる形で、非常に継続性が難しい。現在2つの部会に分かれて、調査研究に取り組んでいるが、新しい地域協議会になると難しい。 川西まちづくり委員会でも地域課題の調査研究が大きな活動の1つになっており、上田市からの交付金による予算を300万円程度持っている。 予算を持って、委員も40名いて、地域協議会の19名に対し大きな人数がいる。調査研究の具体的なものは、予算を持っているまちづくり委員会が計画を立てて実施まで行えるという点では、調査研究はまちづくり委員会で担ってもら方がいいのではないか。 地域協議会は新市合併に伴って作ったものだが、合併後15年経過し、大分落ち着いてきて、まちづくり委員会も発足して何年か経ったので、役割分担の見直しが必要ではないかということで市から提案

があった。新しい組織に対する要望等あったら出していただきたい。

地域の課題を検討する役割も非常に大切で、上田市に提言ができる役割が条例に明確に規定されているのが地域協議会のみであって、まちづくり委員会はそういった権限を持った組織ではない。

そういった性格は地域協議会としては無くさずに、課題を考えて具体的な協議はまちづくり委員会にしてもらおうといった性格分けが必要ではないかと考えている。

見直しがされても川西地区の声が届くような人選、運用の仕方をお願いしたい。

具体的には各地域部会を設置するという説明もあったが、もう少し具体的に説明してもらいたい。

(担当課) 地域の特別な課題がある場合には、地域性を持った部会を設置して取り組んでいくことで、これまでと同様に、地域課題についての協議ができるような体制をとっていきたい。

新しく地域協議会を設置する中で、改めて委員が選出されてくるので、城南、塩田、川西の地域性を持った部会も設置しながら課題についての協議を継続していきたいと事務局では考えている。

(会長) これについては、市の方から8月末までに回答をいただきたいということなので、今日皆さんのご意見を伺い、次回は回答文を皆さんにお諮りして市の方に提出する形をとりたい。

(委員) 川西地域で調査研究の必要が生じ、他の地域では調査研究がない場合、地域協議会の部会を開催するというのでいいのか。その場合、地域協議会の開催として成り立つということによろしいか。

(担当課) 今まで個別の取り組みを地域協議会の活動の一つとしてやってきているので、個別にやっていただいてよい。

(会長)

地域協議会は20名の定数だが、課題別に部会を設けて少人数での会議も開けるとのお答えでした。

(委員) 人選について、統合の一つの理由に、役員兼務による負担軽減があったが、従来どおり自治会の役員の方を充て職で回すということがなくなっていくのか。そういった充て職の方でないと地域に持ち帰るのが難しいようにも思うが、人選について今考えていることがあれば聞かせてほしい。

(担当課) 同様の意見を他の地域からもいただいている。

同じような協議をする場が、地域協議会だけでなく、まちづくり委員会、地区連、自治会の中でもあり、同じ人がどこに行っても同じ協議をしており、役員がとても負担になるのではないかとのご意見である。

4つある組織の役割をそれぞれ見直し、ゆくゆくはそういった方々の負担を統合できないかということも考えている。

現在、4つが併設されているが、会長が出なければいけないということではなく、会から選ばれた代表の方が協議会に参加することも可能である。いずれにしても役員の負担軽減を図っていきたいと考えている。

(会長)

今日いただいた意見を参考に、次回市に出す回答の原案を皆さんにお諮りしたい。

(3) 部会別協議

○農業振興部会

次回8月17日の地域協議会に向けて、被害についての聞き取りや現地確認を行い、地図上にナイロン柵、電気柵、荒廃農地を色分けして落としていくことを確認した。

○健康福祉部会

交通弱者対策として、前回はデマンドバスについて研究したが、今回は既存のバスについてフォローできる部分があるのではないかとということで、室賀線の運行表と令和元年度に行ったアンケートを材料に意見交換をした。

朝の通勤時間帯の運行時刻の見直し、バスの復路（室賀まで来て戻るバス）の活用などをバス会社に働きかけることができないか話し合った。既存のバスを見直したうえでデマンドバスにつなげていけたらということでアンケート方法について精査していくこととなった。

(4) 部会別協議結果報告

協議結果について、各部会の副部会長から報告

5 その他

次回の会議予定 8月17日（火）午後1時30分

6 閉会

以上